

日文研学術講演会

パトリシア フィスター教授 退任記念講演会

受講料
入場無料

定員
500名(抽選)

2019年3月8日[金] 14:00-16:30(開場13:15)
国際日本文化研究センター内講堂

パトリシア・フィスター
(日文研教授)

京都の尼僧像にそそぐ光明
— 尼門跡寺院の新たな歴史をひらく

前川 志織 (日文研 特任助教)

子どもをめぐる
グラフィックデザイン
— 日本の洋菓子広告をてがかりに

日文研学術講演会

Nichibunken Public Lectures

挨拶

小松 和彦 国際日本文化研究センター 所長

司会

荒木 浩 国際日本文化研究センター 副所長

講演

前川 志織

国際日本文化研究センター 特任助教



子どもをめぐるグラフィックデザイン -日本の洋菓子広告をてがかりに

明治維新後の日本では文明開化の風潮のもと、砂糖・バター・ミルクを原料とする洋菓子が欧米から流入した。やがて洋菓子商品の大量消費を促すための広告活動が、マス・メディアを通して活発化する。それらの広告から、この商品が子どもとの結びつきを強めていったさまがみてとれる。キャラメルの新聞広告を中心に、広告と子どもとの結びつきについて、商品の文化的・社会的意味を形成する広告のデザイン表現に注目し考察したい。

パトリシア・フィスター

国際日本文化研究センター 教授



京都の尼僧像にそそぐ光明 -尼門跡寺院の新たな歴史をひらく

本講演では、京都の旧比丘尼御所や菩提寺に残された尼僧の肖像について紹介する。太閤秀吉の姉君を開山とする瑞龍寺は、比丘尼御所の中でも比較的豊かな寺院であったが、十八世紀の都の大火でほぼ焼失した。幸い菩提寺の善正寺に瑞龍寺関係の資料や貴重な品が残され、それらから開山日秀尼の生涯や、当時の法華宗の信仰など、知られざる歴史をたどることができる。またあわせて、宝鏡寺門跡の江戸時代の歴代住持や、菩提寺の眞如寺に安置されている4軀の尼僧の肖像彫刻についても述べる。経年劣化のひどかった御像を製作時の美しい姿に戻すべく修復を行った5年の間に、墨書や像内物などが発見され、新事実が浮かび上がってきた。

ACCESS

阪急桂駅～日文研間の無料バスサービス

往路(日 文 研 行)： 阪急桂駅東口バスターミナルから大阪方面約70m付近より
12:50～13:20の間に4台

復路(阪急桂駅行)： 講演会終了後に4台

通常交通手段 桂坂中央行のバスにて「桂坂小学校前」又は「花の舞公園前」下車

- 阪急桂駅西口：市バス 西5・西6(約30分)
京阪京都交通バス 20・20B(約20分)
- 阪急洛西口駅：ヤサカバス 1・6(約20分)
- JR京都駅：京阪京都交通バス 21・21A・26(約45分)
- JR桂川駅：ヤサカバス 1・6(約25分)

お車でのご来場は、近隣へのご迷惑となるため、固くお断りしております。但し、車椅子をご利用されている等、公共交通機関でのご来場が困難であり、お車でのご来場を希望される場合は、お申し込みの際にその旨をお申し出いただき、必ず事前に許可をお取り願います。



申込方法

- ①催し物名、②代表者氏名(ふりがな)、③郵便番号・住所、④電話番号/FAX番号、⑤同伴者氏名(ふりがな)を明記の上、ハガキ/FAX/E-mail/ウェブフォームにてお申し込みください。 ※1申込につき2名まで受付。



1月25日(金)正午必着

※3名以上のお申し込みは、無効とさせていただきますのでご了承下さい。
※抽選結果は、当落を問わず2月8日(金)頃にお知らせ致します。なお、定員に達しない場合は期日以後もお申込みを受け付けます。

お申込み・お問合せ

国際日本文化研究センター研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075(335)2078 FAX: 075(335)2092

E-mail: koenkai@nichibun.ac.jp

ウェブフォーム: https://webform.nichibun.ac.jp/ja/2019_03_08

※お申し込みの為お預かりした個人情報、大学共同利用機関法人人間文化研究機構が主催する催し物のご案内のみに使用します。

参加申込書

ふりがな		ふりがな	
代表者氏名		同伴者氏名	
住所	〒 -		
電話番号		E-mail	